

令和7年度

新宿区避難所防災訓練レポート

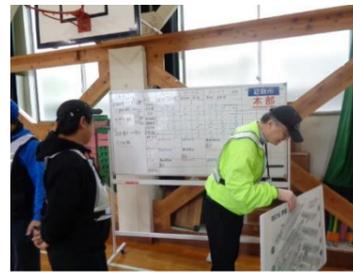
四谷ひろば避難所運営管理協議会（四谷地域）	1
愛日小学校避難所運営管理協議会（箆笥町地域）	2
都立新宿山吹高等学校避難所運営管理協議会（榎町地域）	3
富久小学校避難所運営管理協議会（若松町地域）	4
西戸山小学校避難所運営管理協議会（大久保地域）	5
戸塚第一小学校避難所運営管理協議会（戸塚地域）	6
落合第一小学校避難所運営管理協議会（落合第一地域）	7
落合第三小学校避難所運営管理協議会（落合第二地域）	8
柏木小学校避難所運営管理協議会（柏木地域）	9
西新宿小学校避難所運営管理協議会（角筈地域）	10

避難所防災訓練レポート

協議会名	四谷ひろば避難所運営管理協議会			
訓練日	令和 7年 11月 23日 (日)	8時00分 ~ 11時50分		
運営する町会・自治会等	四谷三丁目町会、四谷四丁目町会、荒木町町会、舟町町会、愛住町町会、片町町会			
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	89人	民間事業者 人	児童・生徒 人
	PTA	人	学校教職員 人	防災関係機関等 11人
	その他	2人	区職員 11人	合計 113人
訓練概要	<p>1 避難所開設キットを用いた開設訓練（町会役員） 8時00分に発災したことを想定し、町会役員が四谷ひろばに参集する。参集後、開設キットを用いて各部の初動対応を行う。</p> <p>【訓練内容】</p> <p>① 本部の立ち上げ、② 施設の安全点検、③ 避難者の受付、④ 災害情報収集・伝達、⑤ 飲料水の確保、⑥ アルファ化米の炊き出し、⑦ 仮設トイレの準備、⑧ 照明の確保、⑨ 避難生活スペース等の設置</p> <p>2 体験型訓練（一般参加者） 1で準備をした資機材を用いるとともに、消防署に講義していただき一般参加者を交えブースを回り体験型訓練を行う。</p> <p>【訓練内容】</p> <p>① 初期消火、② 応急救護、③ 仮設トイレ、④ トイレ用受水槽、⑤ 応急給水栓、⑥ 備蓄倉庫見学、⑦ あっせん物資見学、⑧ 四谷ひろば備蓄見学</p>			
特色・良かった点・成果等	<ul style="list-style-type: none"> 避難所開設キットを使用した訓練は繰り返し行っており、参加者に開設キットの存在を知っていただくとともに、実際に使ってみることで、発災時に各自がすべきことを認識してもらうことができた。 訓練前の避難所運営管理協議会において、役員の中で、開設キットと本部の役割について事前に確認をしたことで、訓練当日、円滑に本部を立ち上げることができた。 新たに購入したトランシーバーを用いて各部が連携をとることができた。 物資の展示を行うことで平時からの備蓄の重要性を再認識することができた。 			
課題・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> 部によっては早めに作業が終わり時間が余ってしまった。 体験型訓練の時間が短く参加者から十分に質問ができなかった。 			
その他※今後取り組みたいこと・意見等	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・高齢の方がいらっしゃる家庭の参加を募る。 20代、30代の参加者が少ないので周知方法を工夫する。 非常食の試食会をしてみたい。 			

＜訓練の様子＞

画像を右クリックして、「図の変更…」から写真を挿入してください。



本部の立ち上げ
避難所運営管理協議会の役員を主体として、本部の立ち上げを実施した



施設の安全点検
被害状況の想定をもとに、各部屋が使用可能であるかということについて確認し、本部に報告を行った。



アルファ化米の炊き出し
発電機起動とバーナー点火の操作確認をし、アルファ化米の炊き出しを行った。



避難所生活スペース等の設置
間仕切りとワンタッチテントの組み立てを行った。



トイレの準備
手順書を見ながら災害用トイレを組み立てた。



応急救護
消防署の説明を受けながら応急救護の方法について学んだ。



初期消火
消防署の説明を受けながら初期消火について学んだ。



四谷ひろば備蓄展示
四谷ひろばが平時から備蓄している物資を展示し、参加者に啓発を図る。



四谷ひろば備蓄説明
四谷ひろばの備蓄について口頭で説明し、参加者に啓発を図る。

避難所防災訓練レポート

協議会名	愛日小学校避難所運営管理協議会					
訓練日	令和7年10月25日(土)	9時00分～12時00分				
運営する町会・自治会等	中町町会、横寺町交友会、筆筈町町会、若宮町自治会、細工町町会、北町町会、弘方町町会、南町町会、北町町会、袋町町会、岩戸町町会、市谷田町二・三丁目町会、西砂土原有志会					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	55人	民間事業者	0人	児童・生徒	3人
	PTA	1人	学校教職員	2人	防災関係機関等	9人
	その他	2人	区職員	7人	合計	79人
訓練概要	<p>1 避難所開設訓練 避難所運営管理協議会役員が中心となり、避難所開設に関する訓練を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校正門の施錠開錠など ・防災無線通信訓練 ・避難所開設キットを用いた受付方法の説明 <p>2 避難所訓練 一般参加者も含めて体験型訓練を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮設トイレ組立&携帯トイレ実演 ・応急救護訓練(AED) ・防災啓発動画視聴 					
特色・良かった点・成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の受付方法について、多くの町会・自治会から意見をいただいた。次回の避難所運営管理協議会でその点について共有し、より実用性の高いものへ更新していきたい。 ・訓練後のアンケート結果では、全ての参加者から「訓練に参加して良かった」または「どちらかといえば参加して良かった」と回答があり、有意義な訓練になった。 					
課題・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもやその保護者も含め、若年層の参加が少ないことが挙げられる。訓練前の周知の段階から学校と連携し、参加者増に向けた取り組みが必要である。 ・備蓄倉庫について、段ボール箱の中身が分かり易いよう、箱に中身の写真を貼る工夫が必要である。 ・避難所内のペット飼育場所について参加者から意見をいただいたので、ペット防災に関する理解と周知を行う必要がある。 					
その他 ※今後取り組みたいこと・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営管理協議会役員の中かで、避難所運営に関する知識を深めていく必要がある。 ・災害時の連携を高めるため、地域住民同士のつながりを広げていくことが大切である。次年度に向けて、若年層や高齢者など、幅広い世代に参加を呼びかける取り組みを行うことで、より多くの地域住民が参加できるような訓練を実施していきたい。 ・訓練参加者からの意見を避難所運営管理協議会役員と共有し、課題や改善点に対してどのように取り組んでいくかを検討する。 					

≪訓練の様子≫

画像を右クリックして、「図の変更…」から写真を挿入してください。



【避難所施錠開錠訓練】

学校施設管理協力員の指導のもと、避難所運営管理協議会役員が中心となり、正門や教室などの施錠解除訓練を実施した。



【開会式】

代表世話人からの挨拶および訓練内容の説明を行った。



【備蓄倉庫見学】

避難所の備蓄倉庫を見学し、備蓄物資の確認を行った。



【防災無線通信訓練】

愛日小学校と筆筈町特別出張所間で無線通信訓練を実施した。



【避難所開設キット説明】

危機管理課職員による避難所開設キットの紹介、使用方法に関する質疑応答を行った。



【携帯トイレ実演】

危機管理課職員による携帯トイレ使用方法の説明を行った。



【応急救護訓練(AED)】

牛込消防署・消防団の指導のもと、自動体外式除細動器(AED)を用いた応急救護体験を実施した。



【防災啓発動画視聴】

首都直下地震の動画を視聴することで、参加者の防災意識向上を図った。



【閉会式】

訓練の統括を含め、閉会式を行った。

避難所防災訓練レポート

協議会名	新宿山吹高校避難所運営管理協議会					
訓練日	令和7年10月19日(日)	8時00分～11時40分				
運営する町会・自治会等	榎町町会・東榎町町会・中里町町会・天神町町会・山吹町会 東山吹町会・天神東町会					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	94人	民間事業者	0人	児童・生徒	0人
	PTA	0人	学校教職員	1人	防災関係機関等	1人
	その他	6人	区職員	10人	合計	112人
訓練概要	<p>1 「避難所開設キット」を活用した避難所開設訓練</p> <p>8時30分に訓練を開始。本部（各町会長等）の指示により役割分担を行い、下記の訓練に取り組んだ。</p> <p>【訓練内容】①本部の設置、②施設の安全点検、③照明の確保、④防寒シートセットの配布、⑤災害情報の収集・伝達、⑥アルファ化米の炊き出し、⑦トイレの準備、⑧ペット同行避難者への対応、⑨女性相談窓口の設置、⑩避難者の受付、⑪飲料水の確保</p> <p>2 地域防災訓練</p> <p>9時00分に各町会の一時集合場所に集合した後、新宿区山吹高校体育館に集合し9時30分から開会式。</p> <p>【訓練項目】①手話講習会、②仮設トイレ展示及び説明・トイレ凝固剤実演、③応急救護講話・物品展示</p>					
特色・良かった点・成果等	<p>地域防災訓練では、避難所運営管理協議会代表世話人の発案により、聴覚障害者が避難してきた際、円滑にコミュニケーションを図るための手話講習会を実施した。新宿区手話サークルの会員6名による講習会が実施され、参加者に大変好評であった。</p>					
課題・改善点等	<p>【避難所開設キット訓練】</p> <p>役員の集合時間を8時としたが、訓練開始前の準備が早く終わり、訓練開始の8時30分まで待機することとなった。来年度は集合時間を遅くすることを検討する。</p> <p>【地域防災訓練】</p> <p>全体として参加者数が少なく、特に若年層の参加者がほとんどいなかった。来年度は児童が興味を持って参加しやすい起震車や煙ハウスなど体験型の訓練実施を検討する。また、周知方法についても併せて検討する。</p>					
その他※今後取り組みたいこと・意見等	<p>手話講習会が大変好評であったことから、様々な避難者への配慮について関心が高いことがうかがえる。避難所運営管理協議会より、外国人住民への対応についても検討したいという声も上がっているため、来年度の訓練に向け調整を行う。</p>					

＜訓練の様子＞



訓練開始

「本部」から各部への指示、役割分担を行う。



庶務部

体育館の電源を使用し、照明器具を設置。



避難誘導部

町会ごとに受付を設置。受付カードを記入してもらい、「訓練内容&順路図」と「防災アンケート」を配布。



アルファ化米の炊き出し
バーナーでお湯を沸かし、アルファ化米の炊き出しを行った。



仮設トイレ展示及び説明
危機管理課職員による仮設トイレの説明。トイレ凝固剤について色水を使用し、実際に薬剤を投入して使い方を実演した。



応急救護講話

消防署による応急救護講話。実演及び物品の展示説明も併せて行った。



手話講習会

新宿区手話サークルによる手話講習会。避難してきた聴覚障害者に対するコミュニケーション方法について、実演と図を用いて説明を行った。

避難所防災訓練レポート

協議会名	富久小学校避難所運営管理協議会					
訓練日	令和 7年 11月 15日 (土)	8時 30分～ 11時 45分				
運営する町会・自治会等	東富久町町会、富久北町会、富久町中町会、西富久町会、市谷台町町会					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	107人	民間事業者	人	児童・生徒	人
	PTA	人	学校教職員	2人	防災関係機関等	10人
	その他	人	区職員	7人	合計	126人
訓練概要	<p>8時発災を想定し、8時30分を目途に富久町小学校に集合、運営管理協議会の各部による避難所開設訓練を実施した。その後、各町会毎に避難所集合受付訓練を行い10時から開会式実施した。（※開会式後ブース体験・見学）</p> <p>【訓練項目】①受付カードによる避難者集計②炊き出し訓練③防災無線通信訓練、④仮設トイレ組立設置訓練、⑤AED訓練・応急救護訓練（三角巾）⑥初期消火訓練⑦ペット防災（ケージの展示、周知チラシの配布）⑧女性相談、女性専用スペースのコーナーの設置⑨段ボールペット体験</p>					
特色・良かった点・成果等	<ul style="list-style-type: none"> 避難者受付時に町会毎に色分けをした受付カードを活用したため、受付担当や避難者が混乱もなく集計作業を含めスムーズに対応することができた。※例年、各町会のカラーを決めて統一的に取り組んでいるため、視覚的な効果もあり集合や移動の際にも円滑な行動に結びついた。 避難所開設後、各ブースを大きく3つ区分し、それぞれ AED、マンホールトイレ、初期消火訓練を目玉として、5町会＋一般の参加者を3班に区分し効率的に巡回できるよう工夫した。 					
課題・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> 運営協議会のメンバーや訓練の参加者の高齢化に加え、10月は町会活動や地域イベントが多く猛暑対策も配慮すると開催時期が11月以降に集中してしまう。 コロナ禍以前は富久小学校の児童も参加していたが、学校公開の時期が年度当初や夏季期間となることから再開の目途が立たない。 富久小学校は以前から擁壁問題を抱えているため、通常の訓練に加え、大規模な災害時には校庭にトラックなどの車両を入れることができず物資の運搬等に大きな支障となる。 					
その他 ※今後取り組みたいこと・意見等	<ul style="list-style-type: none"> 小学校と調整し、以前のように児童が訓練に参加できる取組みを検討していく。 地域や都立総合芸術高校とも連携し、場所などの問題を整理し起震車などの体験も加えていきたい。 マニュアルの更新 					

＜訓練の様子＞

画像を右クリックして、「図の変更…」から写真を挿入してください。



開会式

各町会長を筆頭に町会ごとに集合し、避難所開設訓練の意義や訓練内容について、参加者全員で共有した。



避難者受付（受付カード）

5町会＋一般を6色で区分した受付カードを作成し、避難者の受付から集計までを円滑に行った。



防災無線通信訓練

特別出張所に職員を配置することができなかつたためハンディタイプの無線を小学校に持参し通信訓練を実施した。



マンホール型仮設トイレ

昨年に引き続き、危機管理課職員の協力によりマンホール型仮設トイレの設置訓練を実施した。災害時のトイレの重要性を参加者が実感する機会となった。



AED・応急救護所訓練

消防署及び消防団による AED 及び三角巾を使った医療救護所訓練を実施した。



初期消火訓練

防災訓練の基本のきとなる初期消火訓練はいざという時に行動できるための重要な訓練と位置付けている



ペット防災コーナー

富久小地域は区立富久さくら公園に集うドッククラブ等の活動も盛んなためペット防災コーナーを設置した。衛生課職員は所用により参加出来なかったが、地域活動班を配置しパンフレットを配布した。



女性専用スペースコーナー

災害時に配慮が必要な方々が利用する女性専用スペースコーナーを設置した。案内等は若松地区民生・児童委員の方たちが中心となり簡易テントなどの説明を行った。



段ボールペット体験

富久小学校避難所における開設訓練にて初めて段ボールペットを設置した。参加者は段ボールの強度に不安を感じていたが、実際使用してみるとしっかりして安定感があるなどの感想を述べていた。

避難所防災訓練レポート

協議会名	西戸山小学校避難所運営管理協議会					
訓練日	令和 7年 12月 6日(土)	10時00分 ~ 12時00分				
運営する町会・自治会等	百人町三丁目町会、都営百人町三丁目アパート連絡会、西戸山タワーホームズ自治会、西戸山住宅自治会					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	29人	民間事業者	0人	児童・生徒	0人
	PTA	1人	学校教職員	2人	防災関係機関等	1人
	その他	4人	区職員	10人	合計	47人
訓練概要	<p>【概要】 協議会を運営する4町会・自治会の関係者、学校関係者及び避難所協力員(手話関係+防災サポーター)、地域活動班(1名)が参加した共同訓練。</p> <p>【タイムスケジュール】 10:05～開所式・訓練説明 10:10～各部訓練 11:30～訓練振り返り</p> <p>【訓練項目】 ①避難所運営管理組織の立上げ(開設キット・感染症ガイドライン導入) ②受付訓練 ③発電機操作訓練 ④バーナー訓練 ⑤炊出し訓練 ⑥仮設トイレ組立訓練 ⑦災害時優先電話設置訓練 ⑧無線通信訓練</p>					
特色・良かった点・成果等	<p>【特色】 ■避難所運営管理協議会委員による避難所立上げ訓練を行った。 ■前年度までに出てきた課題の整理を意識して訓練を実施した。</p> <p>【良かった点・成果等】 ■委員が自ら資機材等の操作に取り組む姿勢が見られ、委員が中心となって避難所運営を行う責任感を強く感じた。 ■本部では、全体の把握及び人員が不足している部に他部から適宜人を追加した。 ■庶務情報連絡部では、無線通信訓練や災害時優先電話の設置確認を行った。 ■救護衛生部では、マニュアルを参照しながらスムーズにトイレの組み立てを行った。 ■防火部では、校内を巡回しながら消火器の場所を確認した。</p>					
課題・改善点等	<p>■物資供給部より、備蓄倉庫内に様々な資機材が格納されており、受水槽の蛇口設置時に混乱しないよう、必要な機材に同色のタグや目印を付けたほうが分かりやすい。</p> <p>■避難誘導部より、災害時に避難者受付スペースに避難者が滞留する可能性があるため、遠くまで声が届くように拡声器が必要なのではないか。</p> <p>■防火部より、消火器の前に荷物が置かれており、災害時にすぐ見つけられない可能性があるため、消火器周辺の荷物整理が必要。</p> <p>■救護衛生部より、汲み取り型トイレの設置場所の確認が必要、訓練も本番と同様の場所で設置を行ったほうが良いのではないか。</p>					
その他 ※今後取り組みたいこと・意見等	<p>■健康状態チェックリストでは、体調不良者及び避難部屋の仕分けがしづらいため、フローチャートにするなどリストの改訂が必要なのではないかとの意見があった。</p> <p>■手話関係の避難所協力員が避難誘導部の受付訓練に参加。今後の課題として、受付後の避難所生活で、手話を必要とする方の支援をどのように行っていくかを検討したほうが良いのではとの意見があった。</p>					

≪訓練の様子≫

画像を右クリックして、「図の変更…」から写真を挿入してください。



【開所式】

開所式では、代表世話人より、今年度の訓練趣旨について参加者へ説明を行った。



【避難所全体総括】

校舎を巡回し訓練の進行状況を確認。適宜、各部へ指示を行った。



【避難所立上げ訓練】

校舎内の安全点検後、校舎利用計画図を参考に、避難所として利用する部屋を決定。



【受付訓練】

参加者に避難所受付カード、健康状態チェックリストを記入してもらい、五十音順に仕分けを行った。



【発電機・バーナー訓練】

発電機とバーナーの操作方法を確認した。炊き出し訓練で使用のお湯を沸かした。



【炊き出し訓練】

発電機・バーナー訓練で沸かしたお湯を使い、1箱分のアルファ化米を作りパック詰めを行った。



【仮設トイレ設置訓練】

今年度は汲み取り式(ベンチャー型)トイレの組み立てを実施した。来年度は、実際の災害時にどの場所にトイレを置くか等も検討しながら設置訓練を行う。



【投光器設置訓練】

発電機及び投光器を備蓄倉庫から校庭へ運搬し設置した。併せてランタンの設置も実施した。



【訓練の振り返り(閉所式)】

各部より訓練を通して気付いた課題を発表した。また来年の訓練に向けて改善点を話し合った。

避難所防災訓練レポート

協議会名	戸塚第一小学校避難所運営管理協議会					
訓練日	令和 7年 11月 30日 (日)	午前9時30分 ~ 11時30分				
運営する町会・自治会等	豊睦会、西早稲田三丁目睦町会、三島町会、西早稲田文化町会					
参加者数	町会・自治会等一般参加者	58人	民間事業者	0人	児童・生徒	0人
	PTA	0人	学校教職員	2人	防災関係機関等	14人
	その他	0人	区職員	10人	合計	84人
訓練概要	<p>○各班（町会ごと等）に分かれての訓練を実施。</p> <p>【体験訓練項目】</p> <p>①備蓄倉庫説明・給水訓練、②水消火器訓練・けむり体験 ③応急訓練（AED）、④仮設トイレ組立訓練</p>					
特色・良かった点・成果等	<p>今回、町会の高い関心があったマンホールトイレの貯留管の確認を訓練の一環として行った。災害時に早い段階で設置することが予想される災害用トイレの取扱いについて、実際にマンホールへ水を入れるなどし、より詳しく仕組みを知ることができた。</p> <p>また、災害時に上水道が断水した場合に備え、受水槽から飲料水を確保する訓練も行った。給水訓練も同様に、町会に高い関心があったことから、全体として有意義な訓練となった。</p> <p>そのほか、消防団・消防署・警察署の協力のもと、消火器の操作訓練やけむり体験、AEDを用いた応急救護訓練などといった実践的な訓練を行い、災害時の行動や防災への関心の向上を図った。</p>					
課題・改善点等	<p>一部の訓練メニューが短時間で終わったが、余った時間を有効に使うことができなかった。次年度はこれを踏まえ、協議会とメニューの構成を検討していく。</p>					
その他※今後取り組みたいこと・意見等	<p>訓練後、町会よりマンホールトイレのメニューが特に有意義であったとの報告を複数受けた。今後も引き続き、町会の関心が高い内容を訓練に取り入れ、関係機関と調整しながら訓練の計画・実施をしていきたい。</p> <p>また、今回は運営協議会の訓練事前打ち合わせの日に、避難所マニュアルの読み合わせや学校施設管理協力員による施設施設錠解除訓練などを行ったことも、防災への関心の向上につながったと考えられる。今後も継続して実施していきたい。</p>					

＜訓練の様子＞

画像を右クリックして、「図の変更…」から写真を挿入してください。



仮設トイレ組立訓練



備蓄倉庫の説明

区危機管理課指導のもと、マンホールトイレの設備の使い方、トイレの設置方法などを実施した。実際にマンホールに水を流すなどし、より詳しく仕組みについて確認を行った。

区危機管理課の指導のもと、備蓄の説明を受けた。



消火器による初期消火訓練



けむり体験



給水訓練

消防署・消防団の指導のもと、水消火器を用いて発災時の初期消火訓練を実施した。

消防署・消防団の指導のもと、けむり体験機を用いてけむりが充満した中での移動の仕方について訓練を実施した。

区危機管理課の指導のもと、受水槽から飲料水を確保する訓練を実施した。



応急救護訓練



消防署・消防団の指導のもと、自動体外式除細動器（AED）を用いた応急救護訓練を実施した。



警察署ブース

警察署のによる防災啓発

避難所防災訓練レポート

協議会名	落合第一小学校避難所運営管理協議会			
訓練日	令和 7年 9月 7日 (日)	9時30分～12時00分		
運営する町会・自治会等	中落合三丁目やよい町会、中落合一丁目みどり町会、中落合二丁目町会			
参加者数	町会・自治会等一般参加者	64人	民間事業者 人	児童・生徒 人
	PTA	町会に含む人	学校教職員 2人	防災関係機関等 16人
	その他	6人	区職員 10人	合計 98人
訓練概要	<p>町会役員は9時に集合し、9時半から受付開始。開会式後、10時から11時半まで、30分目安でグループごとにA,B,C3つのメニューの訓練を実施した。</p> <p>【訓練項目】A：家具転倒ジャッキアップ訓練、AED体験、ペット防災 B：起震車体験、仮設トイレ見学、備蓄倉庫見学（備蓄物確認含む） C：ワンタッチテント操法訓練、水消火器訓練</p> <p>その他：・PTAの方を対象に、バーナー着火訓練 ・町会代表者による防災無線通信訓練</p>			
特色・良かった点・成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者施設の通所者と指導者が訓練参加するなど、地域ぐるみで防災意識を高めることができた。通所者からも、防災館などで見学しているよりは、実際の体験ができ非常に良かったとの感想があった。 ・関係所管課の協力を得てペット防災に係る対処を確認し、訓練当日と震災があったときの設置場所の差異を確認できた。 ・恒例の参加者に配慮し、例えば水分補給が常時できる（受付付近に給水所）、AED訓練時に周囲に椅子を用意して楽な姿勢で訓練参加できるなどの工夫を行った。 ・ジャッキアップ訓練は、新たな試みであったが非常に良い体験になったのではないかな。 			
課題・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・進行について、どこかのグループが遅れると、訓練メニューの実践時間を省略せざるを得なくなるなどの影響があった。複数の項目を合わせていることもあり、実施するメニューの組み合わせを再考する余地はある。 ・ジャッキアップ訓練について、ジャッキが車に積んであるか知らない方も多く、普段からの確認が必要であると感じた。 ・炊き出し訓練では、いざ本番を想定した場合、どこから炊き出し用の水を持ってくるかなど、確認しなければならないことがまだまだあると感じた。 			
その他 ※今後取り組みたいこと・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者について、町会の年間スケジュールの関係で真夏の開催となったが、猛暑の影響は大きいと、気候的にも実施時期の検討を行った方が、参加者増につながるのではないかな。 ・屋外の訓練について、例えば水消火器訓練は実際に水を使用するのではなく、エアーを使用するなど訓練のやり方を考えても良いのではないかな。 			

≪訓練の様子≫

画像を右クリックして、「図の変更…」から写真を挿入してください。



町会ごとの受付形式とした当日の受付風景。町会のほか、管内の障害者ホームからの参加もあり、多様な参加者となった。



PTAの方による炊き出し訓練。学校内の倉庫からバーナーを搬出することから始めるという、聞く人が誰もいない時に役立つ訓練を行った。



初めての試みであったジャッキアップ訓練。地震で家具が倒れて動けない場合を想定した訓練であり、ジャッキの使用方法を確認するなど、極めて実践的な訓練であった。



起震車の準備中シーン。身近な体験コーナーとして人気があり、名物コーナーとなっている。



消火訓練。イザという時の備えとして、消火器の使い方の実践訓練も行った。



AED訓練。消防団の見本実習を元に、各町会の皆さんが実践訓練を行った。



閉会式。炎天下の避難所訓練であったため、熱中症予防の観点から学校側の好意により、体育館での閉会式となった。



避難所防災訓練レポート

協議会名	落合第三小学校避難所運営管理協議会					
訓練日	令和 7年 11月 16日 (日)	8時30分～ 11時00分				
運営する町会・自治会等	落合親和町会、西落合町会					
参加者数	町会・自治会等一般参加者	65人	民間事業者	0人	児童・生徒	町会・自治会一般参加者に含む
	PTA	1人	学校教職員	3人	防災関係機関等	14人
	その他	1人	区職員	19人	合計	103人
訓練概要	<p>8:30～ 委員集合 9:00～ 受付開始 9:15～ 開会式 9:20～ 訓練開始 (班別)</p> <p>【訓練項目】</p> <p>① 初期消火訓練 (水消火器) ② 起震車体験 ③ 炊き出し訓練 (発動発電機・バーナー説明) ④ 医療救護所見学 ⑤ 仮設トイレ訓練 (ベンチャー・イーストアイ) 10:50～ 閉会式</p>					
特色・良かった点・成果等	<ul style="list-style-type: none"> 起震車体験では、日常では体験できないような大きな地震を体験することができ、災害の怖さを身をもって体験することができた。 医療救護所見学では、災害時の医療救護所の役割を確認した。また、落合保健センター職員が災害時のガーゼの効果的な使い方を紹介し、訓練参加者が実際にガーゼを手に取り、使い方の確認を行った。 					
課題・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の多くが大人で、子どもの参加者が少なかった。幅広い年齢層による訓練を実施するためにも、子どもの参加を促す工夫が必要だと感じた。 					
その他 ※今後取り組みたいこと・意見等	<ul style="list-style-type: none"> 炊き出し訓練を担当した町会の方から、アルファ化米について、赤飯や栗ご飯等の今年度とは異なる味を来年度の避難所防災訓練では取り入れたいとの意見が挙がった。 					

「訓練の様子」

画像を右クリックして、「図の変更…」から写真を挿入してください。



開会式

各班ごとに整列し、訓練内容の説明を行った。

初期消火訓練

水消火器による初期消火訓練を行った。

起震車訓練

起震車に乗り、大きな地震の体験訓練を行った。



炊き出し訓練

発動発電機及びバーナーの使い方の確認を行った。

医療救護所見学

医療救護所の役割の確認を行った。

医療救護所見学

災害時のガーゼの使い方について確認を行った。



仮設トイレ訓練

仮設トイレの見学を行った。

仮設トイレ訓練

仮設トイレの見学を行った。



避難所防災訓練レポート

協議会名	柏木小学校避難所運営管理協議会					
訓練日	令和 7年11月 1日(土)	8時 45分～ 13時 5分				
運営する町会・自治会等	北新宿一丁目仲町会・北新宿蜀山町会・北新宿二丁目町会・北新宿二丁目新和会					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	92人	民間事業者	0人	児童・生徒	0人
	PTA	1人	学校教職員	3人	防災関係機関等	17人
	その他 (スクールコーディネーター)	1人	区職員	11人	合計	125人
訓練概要	<p>各町会が一時集合場所に集合した後、9:40までに柏木小学校体育館に集合、9:40から防災無線機及び災害情報システムを使用した通信・報告訓練を実施、10時から開会式。10:15～12:25まで4町会を2班に分けてローテーション訓練を実施し、12:25から閉会式を行い訓練終了。</p> <p>【訓練項目】①避難所開設キット説明(第2回の避難所運営管理協議会にて事前実施)、②マンホールトイレ送水実演、③参集訓練・避難所受け入れ訓練・通信訓練、④水消火器訓練、⑤「煙体験ハウス」を活用した煙体験、⑥日赤柏木分団による応急救護訓練、⑦間仕切り・ワンタッチテント組立・見学</p>					
特色・良かった点・成果等	<p>■協議会における話し合いの中で、「マンホールトイレの実際の使用方法を身に付けたい」との意見があり、今回の訓練では予め簡易水槽にためた水をバケツリレーで送水し、貯留栓を引き上げて水が流れるところまで実演を行った。なかなかマンホールトイレの実践的に使用する機会が無いため良い体験ができた。</p> <p>■例年、各町会の町会長や役員の方は開会式の1時間以上前に訓練会場まで来ていただいているが、「参集する訓練参加者を待っている時間を有効活用できないか」という意見が出たことを踏まえ、危機管理課指導のもと、先に集合している町会役員の方達が自ら、体育館でワンタッチテント・間仕切りの組立を行った。</p> <p>■消火・煙体験、応急救護、トイレ関連、参集・無線訓練など、避難所運営に必要な要素を幅広く訓練メニューとして実施することができ、訓練参加者が実体験を通じて理解を深める機会を確保することができた。</p>					
課題・改善点等	<p>■昨年度より10名ほど訓練参加者は多かったが、まだまだ参加人数が多いとは言えず、参加者が少ないことはまだまだ課題である。特に近隣住民の中でも若い世代の参加促進のため、小学校に協力していただき訓練の実施を一斉メールなどで周知してもらったが、次年度以降は訓練実施場所の小学校に通う児童と保護者の方の参加が増えるよう、さらなる工夫ができればと考えている。</p> <p>■今年度より、従前の防災無線機による通信訓練に加えて、災害情報システムによる報告訓練のメニューも追加したが、職員側が災害情報システムのオペレーションの習熟度が不十分であったため訓練がバタついてしまった瞬間があったので訓練前に職員側が必要な知識をきちんと身に付けておきたい。</p>					
その他 ※今後取り組みたいこと・意見等	<p>■以前に地域センターまつりで起震車体験を実施したところ、大変好評であったことから、今回の訓練実施の際には起震車体験メニューが実施できれば良いなと思っている。訓練参加者が増える要素となる期待もさることながら、震度7などの状態がどんなものかを実体験することにより防災意識の向上に繋げていきたい。</p> <p>■来年度は6月に訓練を実施予定であるが、これまで秋にしか実施していなかったため、参加者人数の変化等、実施時期の変更に伴う訓練における変容を検証していきたい。</p>					

≪訓練の様子≫

画像を右クリックして、「図の変更…」から写真を挿入してください。



マンホールトイレ送水実演①
参加した地域の方が貯留槽内に収納されている貯留栓の引き上げを体験した。



マンホールトイレ送水実演②
マンホールトイレ(仮設トイレ)の接続口を確認



マンホールトイレ送水実演③
大人も子どももみんなで協力してバケツリレーにより貯留槽に送水するも汚物を下水に流すための水量を貯めるのは大変なことを実感



煙体験ハウス①
煙の吸引を避けるためにも低い姿勢が必須。最初のうちは慣れずに、目の前が白くかすみ前に進むのに苦労する。



煙体験ハウス②
実際の火災で起きる「視界不良」「煙の怖さ」といったことを親子で体験することができた。



水消火器訓練
実際に火災が発生した時は、「火事だー」と叫んで周りの人に知らせることが重要、消火器を使用する際は安全な距離を確保し、火に近づき過ぎない。

避難所防災訓練レポート

協議会名	西新宿小学校避難所運営管理協議会					
訓練日	令和 7年10月5日(日)	10時00分 ~ 12時00分				
運営する町会・自治会等	西新宿角三町会、西新宿四丁目町会、淀橋町会					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	75人	民間事業者	2人	児童・生徒	0人
	PTA	0人	学校教職員	1人	防災関係機関等	24人
	その他	7人	区職員	18人	合計	127人
訓練概要	<p>8時30分から区職員を中心に、会場の設営準備を行った。また、9時20分より学校施設管理協力員、各防災区民組織役員による西新宿小学校正門の開錠訓練を実施した。その後、10時から開会式を実施した。</p> <p>開会式後、町会や自治会、一般参加者の方々が各訓練場所を回り、各所で訓練を実施した。各訓練場所で訓練終了後、12時より閉会式を実施した。</p> <p>【訓練項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①AED 訓練 ②赤十字防災セミナー ③ペット防災 ④災害時非常用トイレ啓発と配布 ⑤防災啓発（新宿警察署） ⑥仮設トイレ組み立て ⑦長周期地震動体験 ⑧新宿消防団第二分団コーナー ⑨防災無線訓練（各防災区民組織役員） ⑩医療救護所訓練（東新宿保健センター） 					
特色・良かった点・成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、日本赤十字社東京都市部の方々によるホットタオル作りや民間事業者の方々による長周期地震動体験など、新たな訓練項目が追加され、より実態に則した訓練になった。 ・前年度の倍の人数の一般参加者が集まった。AED を用いた実践的な訓練のほか、疑似体験型の訓練もあり、参加者の方々が日頃から防災への関心を持つことができるような内容だった。 					
課題・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・各々で自由に各訓練場所を回ることができるようにしたため、一ヶ所の訓練場所に人が集中してしまうことがあった。グループごとに回ることも検討したい。 ・一般参加者のさらなる増加に向けた取り組みが必要である。 ・避難所運営管理マニュアルを確認・共有する。 ・受付訓練を実施し、その後各訓練に入る方がよい。 					
その他※今後取り組みたいこと・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の利用方法を知らない人が出ないように、利用方法のさらなる周知をはかるとともに、防災訓練への参加を積極的に呼びかけていく。 ・当日の訓練の様子を参加できなかった方に動画等で共有していきたい。 					

≪訓練の様子≫



【AED訓練】

新宿消防署員・消防団員の方々による指導のもと、AEDを用いた救急救命訓練を実施した。



【ホットタオル作り】

日本赤十字社東京都支部の方々の指導のもと、少量のお湯とタオルでホットタオル作りを体験した。



【エコノミークラス症候群予防体操】

日本赤十字社東京都支部の方々に、エコノミークラス症候群の予防体操を指導していただいた。



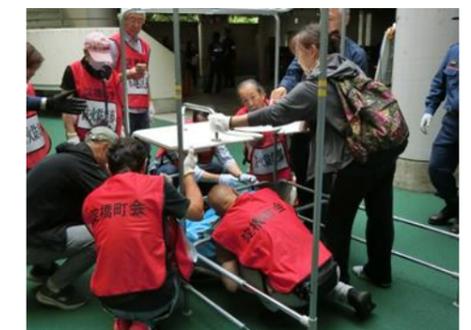
【災害時非常用トイレの啓発】

赤十字奉仕団角筈分団の方々から、災害時簡易トイレが配布され、トイレの備蓄の啓発が行われた。



【新宿警察による防災啓発】

震災時の様子を撮影した写真パネルを展示し、防災意識の啓発を行った。また、パンフレットやホイッスルの配布も行われた。



【仮設トイレの組み立て】

災害時に使用する仮設トイレに関する概要等を説明の上、実際に参加者の方々が協力して組み立てる訓練が行われた。



【長周期地震動体験】

可搬型地震動シュミレーター「地震ザブトン」に座り、過去に起きた大地震の揺れを体験した。



【新宿消防団第二分団コーナー】

パンフレットの配布を行い、参加者の方々の防災意識の啓発を行った。



【医療救護所訓練】

東新宿保健センターの職員のみで、医療救護所訓練が行われ、災害発生時の流れなどを確認した。